

令和3年3月15日

幌延町長 野々村 仁 様

幌延町総合計画審議会  
委員長 一 関 捷 治



第6次幌延町総合計画について（答申）

令和元年7月17日付けで本審議会に諮問のありました第6次幌延町総合計画（前期基本計画）について、慎重に審議した結果、次の意見を付して別冊のとおり答申いたします。

なお、前期基本計画の推進に当たりましては、町民へ積極的な情報提供に努め、魅力的で活力ある安心で住みよい自治体運営がされますことを期待いたします。

記

1 個別意見

- 人手不足や行政サービスへの多様化するニーズに対応し、事務の効率性やサービス向上を図るため、民間事業者と行政による協働の体制づくりについて検討すること。
- 観光・交流人口の拡大のため、海外を含めた観光客の利便性向上のための取組を検討するとともに、幌延市街地への誘客方策について検討すること。
- 企業誘致・起業の促進方策について検討すること。
- 高齢者等の生活利便性向上を図るため、除雪サービスのあり方について検討すること。
- 高齢者活躍の場の創出として、アクティブシニア人材登録制度の構築を進めること。
- 町民が、より書道に触れ合うことができるよう機会創出について努めること。
- 芸術・文化関連施設の知名度や利用率向上に資する取組について検討すること。
- 芸術文化活動における全道大会への参加に係る支援等について検討すること。
- 読書機会の充実や促進のため、公共施設や学校が連携した図書貸出体制など、町民が図書に触れ合いやすい仕組づくりについて検討すること。
- 家庭や学校における環境教育の充実方策について検討すること。
- 防災意識の高揚や防災体制の強化のため、町民全体への意識づけや防災士等有資格者の支援・活用について検討すること。

